

第34回しれとこ産業まつり



女性部（左）青年部（右）ともに新メニューで出店！



商工会だより

発行所 斜里町商工会
〒099-4113 斜里町本町29番地8
電話 0152-23-2185
FAX 0152-23-0501
e-mail: shashoko@rose.ocn.ne.jp
発行日 平成25年11月1日
編集 広報委員会
責任者 神田裕治
印刷 (有) 斜里印刷

第三十四回「しれとこ産業まつり」
（主催）しれとこ産業まつり実行委員会）が九月二十二日（日）、青空のもとみどり工房しやり特設広場で今年も「知床の大地と海の恵みに感謝」をテーマに開催された。
九時三十分より斜里中学校吹奏楽部のオープニング演奏でスタート。午後十時からの特産品販売開始前から多くの人が各ブースに並び賑わいを見せていた。最終的に1万2千人が来場し、秋の味覚を楽しんだ。
商工会からは、今年も青年部と女性部が参加。青年部では、「のんびり焼肉コーナー」を担当し、たこ焼き・焼き鳥・フライドポテト・ビール・トロピカルジュース・かき氷を販売した。女性部は、お好み焼き・おでん・お弁当や部員たちのお店の自慢の品などを持ち寄り販売した。
ステージイベントでは、キャラクターショー「獣電戦隊キョウリュウジャーショー」が二回行われ、ちびっ子たちが大きな歓声を上げ喜んでいた。十一時三十分からの演歌歌手「石井詢子コンサート」では、多く

の方が歌声に聞き入っていた。また、今年には沖縄県竹富町との姉妹町盟約四〇周年を記念し竹富町の方々が来町されステージ上で踊りや歌の民族芸能が披露された。さらにこの盟約を記念し来運の水で作った特製泡盛三〇〇本が会場で先行販売された。
ステージ横では、ウトロ温泉ペア宿泊券など当たる「お楽しみ抽選会」（先着五〇〇名）が行われ、当たりはずれに一喜一憂していた。「海と大地で遊ぶ」コーナーでは、ほっき釣り・たこやさけのつかみどりで親子連れが楽しんでいた。また、農業振興センターでは「知床盆栽展」も開かれていた。（棚山）

平成26年1月から、記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の金額の合計額が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、平成26年1月からは、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税の申告の必要がない方を含みません。）について必要となります。

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）に掲載されていますので、ご覧ください。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

工業部会視察研修

工業部会（山本勝部会長）では、



北海道製鎖(株)工場内を視察

9月10日～11日の日程で、職場の安全管理・労務改善等に関する事項や企業の先進技術・生産ライン等についての研修を、音更・芽室・幕別町において実施した。
1日目は、北海道製鎖(株)を視察。タイヤチェーンの製造メーカーは全国7社、道内では1社のみ。ここでは、一本のワイヤーを加工してチェーンとなり、タイヤに付けるための加工がされる。出荷先はほとんどが道外で、北海道はタイヤにピンが打てる地域であり道路事情が良いため、チェーンの使用は極めて少ないが、東北はピンが打てない地域であるため、一番多い出荷先となっている。また、知的障害者を積極的に雇用しており、従業員40名のうち9名が知的障害者である。社長は、障害者が社会に出ることが重要だと訴え、経

済界にも呼びかけをしているという。

2社目の視察先は日本罐詰(株)十勝工場。明治乳業グループのオートメ化された缶詰工場。道内1000軒の契約農家から集められたコーンを加工している。スイートコーン缶詰は、約35日間の製造ラインとなる。オートメ化された工場とはいえ、人手が多かり従業員も多く必要だが、近年は雇用の確保も厳しい状況となっているという。

2日目は、(株)テクノカ本部。敷地面積2ha・栽培室1ha・準備室0.2haで、ほうれん草の水耕栽培を行う企業。通常の畑は2haあっても通路やうねにより面積の半分は栽培となるが、この水耕栽培では2haの内93%を使うことができる。夏場は15～16日、冬場は50日～60日で収穫。1日30～60tの水をほうれん草が吸う。これを全て雨水(800tのタンク)で賄う。雨水には約30種類の成分をいれて栽培している。出荷先はほとんどが道外であり、通常の時期ではない時期に出荷できることと、北海道産の知名度もあり、高値で取引されている。

全体を通して、大企業においても小規模事業者においても、雇用確保の問題や障害者の雇用についても参考となるが多かった。近隣の企業・工場が独自の技術・商品を持ち、全国でも数少ない分野で活躍する状況や、新たな農業の可能性や既存との融合の可能性等についてもとても

参考になった研修であった。

永年勤続従業員表彰 (受賞者)

平成25年度の永年勤続従業員表彰受賞者は次のとおりです。

● 5年……大槻勝成・向岩克裕・椚杷木肇・吉崎真須美(旬)片山電気商会、溝口雄己(株)ユートピア知床、横田拓巳(株)藤苑、加藤伸也(株)中田建機、釣場 光(株)野尻正武商店、金子 誠・竹内正人(辰三興業(株)、遠藤奈々・近藤麻紀子(セブインレブ)

斜里ウトロ店)、金子瑞恵(大成工業(株)、高橋洗貴(ハンドル知床クリンサービス(旬)、桑島一彦(斜里バス(株)、酒井雄一・高橋太一・扇 智(株)美咲興業)、佐藤雅子・三谷俊博・吉島マキ子・山田めぐみ(株)知床グランドホテル)

● 10年……堀美津恵・波佐 崇(サンエイ工業(株)、小山田栄子・吉村理恵(株)中田建機)、岩佐奈美(斜里町商工会)、久野一(大成工業(株)、小林智成(ハンドル伊藤産業(旬)、元村徹子(セブインレブ)斜里青葉町店)、小野寺朋子(旬)トライベッカ)、曾我渉(斜里アポロ石油(株)、須藤優治・千葉巨人・渡辺健吾・菅絵里香(斜里バス(株)、水野朋広(株)美咲興業)、渋谷隆雄・伊勢洋一郎・今 良太・前田明彦・横田典生(株)知床グランドホテル)

● 15年……八十木貴(サンエイ工業(株)、宍倉勝也(星印刷工業(株)、佐々友明(株)中田建機)、中村 剛(株)長屋工業、津田順也・高橋敏幸(北海羽田コンクリート(株))中花繁昌(株)河面組)、若木健治(株)野尻正武商店)、高橋智浩(株)中村商会)、桑島康夫・西村隆浩(株)丸七高橋組)、手戸静子・高橋宏文(株)開発工業)、榊尚美(シドニークリーニング)、森野芳則(斜里バス(株)、三好文雄・長町 猛(株)美咲興業)、五十嵐洋子・岩谷美子(株)知床グランドホテル)

● 20年……植木義則(サンエイ工業(株)、杉江 雄(株)中田建機)、原健治・伊藤和博・八幡勝美(株)河面組)、荒木秀一(株)野尻正武商店)、田中佳恵(住友生命保険相互会社斜里支部)、畑山洋子・長嶋英敏(斜里バス(株)、福井直樹(株)知床グランドホテル)

● 北海道商工会連合会会長表彰
植木義則(サンエイ工業(株)、佐藤隆・吉田直樹・佐々木和司(株)開発工業)、中川久留美(旬)タカハシ)、田中佳恵(住友生命保険相互会社斜里支部)

● 全国商工会連合会会長表彰
加藤政則・佐藤哲夫(星印刷(株)、今野利幸・岡本敦(旬)斜里印刷)、山本勉(サンエイ工業(株))

※平成25年5月中に各事業所へ賞状及び記念品を持参し、事業所より受賞者へ伝達。北海道商工会連合会会長表彰・全国商工会連合会会長表彰は、平成25年5月中に事業所へ伝達。

チャリティプロレス開催



7年ぶりのプロレス開催!

10月6日(日)アジアンプロレスリング(代表 畠中浩旭)による「チャリティプロレスinしやり」が行われた。場所は斜里町産業会館2階大ホール。

この興業はチャリティプロレスということもあり試合に先立ってアジアンプロレスリング選手兼代表の畠中さんから斜里町自治会連合会児童

経営セミナー開催

(法人会)

10月16日(水)公益社団法人 網走地方法人会斜里支部主催の経営セミナーが斜里町産業会館2階大ホールにおいて開催された。

講師は斜里町出身で現在は宮城県仙台市在住の株式会社メデイカルライフサービス代表取締役 江尻 毅氏(44)。「経営環境の変化を踏まえた企業の生き残り方策」というテーマで約一時間半、熱い講演となった。

当日は斜里町にも台風26号が接近し、大変な暴風雨となり、大ホールは多少の雨漏りという状況の中、多

福祉部会(部会長 上野敏雄)へチケットの売り上げの一部が手渡された。大きな拍手が沸き上がった。

会場はほぼ満席だったが、序盤のシングルマッチは「この人たち、ホントにレスラー?」と思うような体格の選手達が登場し、笑いを誘った。序盤は少々静かだった会場も、中盤からのタッグマッチあたりから段々と盛り上がり大きな拍手や声援が聞かれるようになり、まずまずの盛況ぶりだった。

レスラーと名乗っている以上、技うんぬんの前に身体の見ただ目で観客を魅了する存在感を期待していたが、バラエティを存分に含むプロレスも実際に観戦すると面白いものだなと感じた。

多くの参加者が集まり、セミナーへの関心の高さがうかがえた。

講演内容は大きく4つに構成され、丁寧な講演に来場者は深くうなずいたりメモを取りながら聞いていた。特に江尻さん自身が関わってきた医療法人の経営立て直しの話がとても面白く興味深かった。(渡辺)



講演終了後の講師の江尻さん

● 年末資金の準備はお早めに! ●

● 日本政策金融公庫

日本政策金融公庫では、年末資金及び国の教育ローンの貸し出しを次の要領で行っている。

■ 年末資金

▽融資額 普通貸付4800万円

▽利率 以内

▽用途 商品仕入れや、買掛金、

手形決済、賞与などの諸

経費支払い、車両、機械

購入や店舗事務所の改装

など

▽返済期間・運転資金5年以内(うち元金据置1年以内)

・設備資金10年以内(うち据置2年以内)

※お使いみち、ご返済期間または担保・保証人の有無によって異なる利率が適用される。

■ 国の教育ローン

▽対象者 高校・大学・専門学校などに入学者・在学される方

の保護者等

▽用途 入学時・在学時にかかる費用

▽融資額 学生・生徒一人につき300万円以内

▽利率 年2・55%

▽返済期間 15年以内(在学期間内で元金を据置ができる)

日本政策金融公庫北見支店

0157-244115 (国民生活事業)

● 商工貯蓄共済融資

平成25年度下期(10月～3月)の適用融資利率は、次のとおりです。

■ 一般融資利率

積立範囲内 0・40%

3年以内 0・70%

(+0・8%損害補填基金)

3年超5年以内 0・75%

(+0・8%損害補填基金)

5年超10年以内 0・80%

(+0・8%損害補填基金)

中小企業大学旭川校 研修のご案内

テーマ 税務からみる経営改善講座

期間 平成26年1月16～17日

対象者 経営者・経営幹部

問い合わせ先

中小企業大学校旭川校

〒078-8555 旭川市緑が丘

東3条2丁目2番1号

TEL:0166-6511200

FAX:0166-6512190

「必ずチェック 最低賃金！使用者も労働者も」

北海道 最低賃金

時間額 **734円**
平成25年10月18日 発効

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道（地域別）最低賃金が上のおり改正されました。

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、及び時間外等割増賃金は算入されません。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

11月は労働保険適用促進月間です！

事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか。労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

厚生労働省では、「未手続事業の一掃」を年間を通じた主要課題と位置付けたうえで、

11月を「労働保険適用促進強化期間」とし、集中的に広報活動を展開し、労働保険制度のより一層の理解、周知を図ることとしております。

問い合わせ先
最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所

会員の状況

加入者

- ・居酒屋 みちくさ 浦屋 政広
- ・組織変更

- ・(株)丸三グレース

↓スナックダンヒル 川西由紀子
平成25年11月1日現在会員数 367名

お知らせ

○年末調整説明会

- とき 11月20日(水) 午後2時～
- ところ ゆめホール知床

○決算・消費税説明会

- とき 12月3日(月) 午前10時～
- ところ 産業会館大ホール

○ふらつとナイト

- とき 11月8日(金) 午後7時～
 - ところ 実施商店街
- 雨天決行！

はまなす



*今年度から広報委員会に所属ピカピカの一年生です！何を書いたらよいのやら…。前置きはこれくらいにして。

*食の安全安心について。まず、平成11年度からJAS法の認証制度の認定を受けたもののしか、有機栽培(オーガニック)として表示することができません。

*昨今は様々な表示を目にし、色々な言葉が聞かれます：「無農薬」「減農薬」「低農薬」「無化学肥料栽培」「減化学肥料栽培」「減農薬無化学肥料栽培」など、どこが違うのか、どれが安全なのか、分からなくなっているのではないのでしょうか。農林水産省は平成16年、消費者が誤解を招きやすいということから、これらすべてを「特別栽培農産物」と統一して表示させることにしました。

*農産物は大きく3つに分類できます。一、有機栽培農産物。二、特別栽培農産物。三、一般栽培農産物。

「有機栽培農産物」とは、化学合成農薬と化学肥料を使用しない農産物です。その点において第三者機関がチェックし、時には罰則もありません。「特別栽培農産物」とは、農薬の使用回数慣行的使用回数の50%以下かつ、肥料については化学肥料の窒素成分量の50%以下の農産物です。一定の基準はありますが法的義務も罰則もないことから、生産者の自発的な行動によって守られる性格のものであります。「一般栽培農産物」とは、地域(北海道)従来から慣行的に行われている成分使用回数で作られている農産物です。

*地域(北海道)の従来から行われている農薬慣行レベルの例。①玉ねぎ 28〜30回②きゅうり 33回「培農産物」と統一して表示↓ハウス抑制に至っては49回③ばれいしょ 21回 *従って、有機栽培と表示されているものは一番信頼でき安心安全と言えるでしょう。また、生産者の顔が見える地場農産物も、安心して安全な食品といえるでしょう！ (竹田)